



令和3年8月19日  
海上保安庁

## 新しい海図シリーズを発行 ～海外での迅速で容易な入手にむけて～

海上保安庁では、新しい海図シリーズを発行します。  
第1号として、令和3年8月に『JPN1 NIPPON AND THE ADJACENT SEAS 日本及近海』  
を発行します。

日本で海洋調査から海図作製までを一貫して行う水路業務が始まって150周年<sup>\*1</sup>となる令和3年に、海上保安庁では新しい海図シリーズの発行を開始します。

現在、我が国が発行している航海用海図には、和文と英文が併記された海図シリーズ（637版<sup>\*2</sup>）と、英文のみで色調が異なる海図シリーズ（139版<sup>\*2</sup>）の2種類があります。和文と英文が併記された海図は主に国内の取扱店で、英文のみの海図は世界中の取扱店で販売されています。

新しく発行する海図シリーズは、英文と和文の表記方法や色調を変更し、現行の2つのシリーズを統合するもので、世界中の拠点で印刷と供給が可能となるよう、仕様を変更し、より迅速かつ容易に入手できる体制の推進を図っていきます。また、新しい海図シリーズでは、我が国が発行した海図であることを示す「JPN」を冠した番号を付与します。

新しい海図シリーズの第1号として、先行モデルの意味も持たせ、我が国全体を包含する区域を収めた『JPN1 NIPPON AND THE ADJACENT SEAS 日本及近海』を発行します。

図番号	図名	縮尺	用紙サイズ	価格 (税込)	発行日
JPN1	NIPPON AND THE ADJACENT SEAS 日本及近海	1:5,000,000	1,085x765mm	3,520円	8月27日

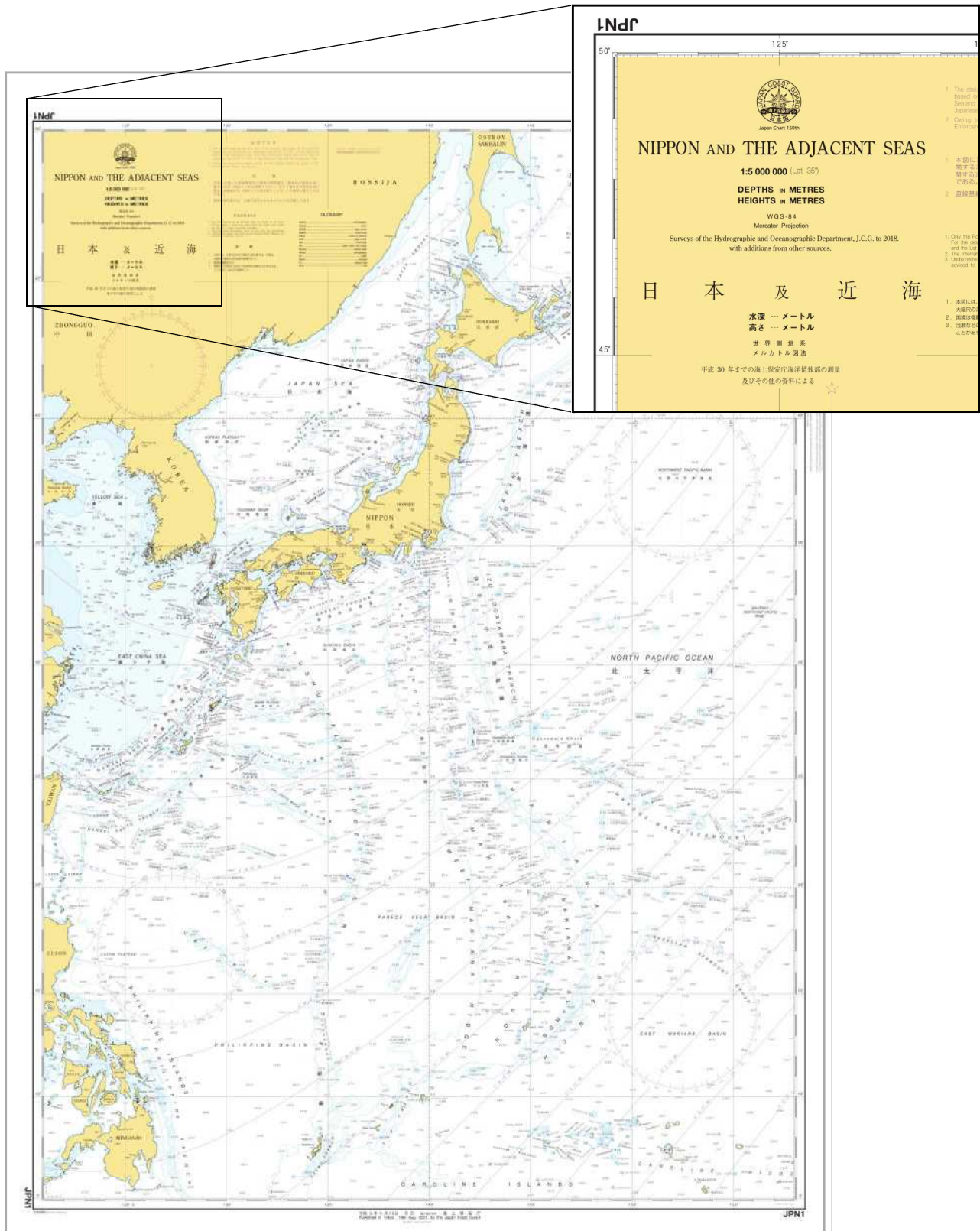
なお、現在発行している海図は、令和4年度以降、新しい海図シリーズに順次移行していきます。

\*1: 明治4(1871)年に我が国独自で海洋調査から海図作製までを行う機関が設置されてから、令和3年で150周年を迎えました。

\*2: 令和3年8月1日現在

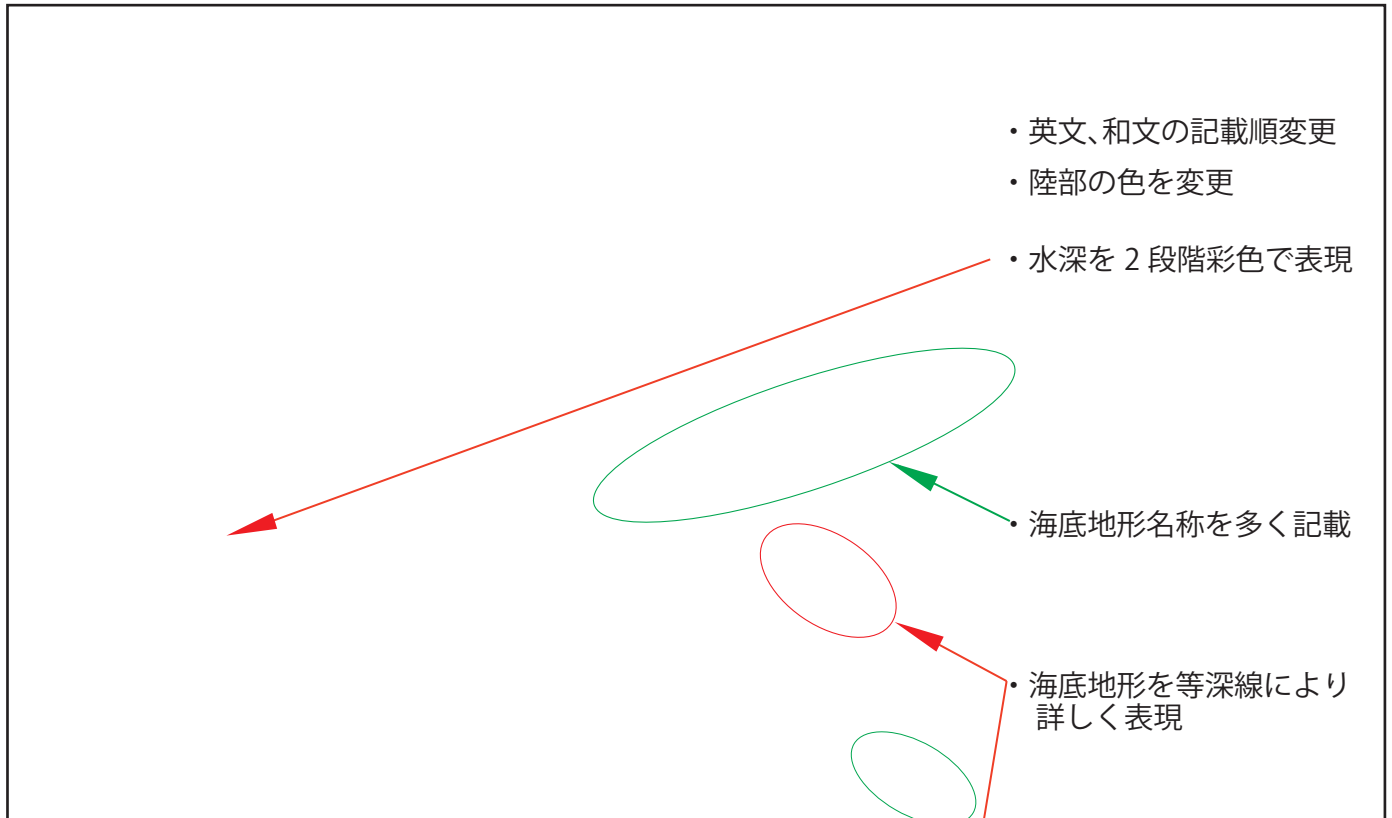
『JPN1 NIPPON AND THE ADJACENT SEAS 日本及近海』

(全体と表題部分)



# 新シリーズと既刊海図との違い

## 「JPN1 日本及近海」(新シリーズ)



## 「W1009 日本及近海」(既刊の海図)

